

平成 28 年度第 3 回堺市堺区区民評議会 主な意見

1 中間報告に向けての考え方の整理について

- ・ 既存の町家を改修するだけでなく、町家風の建物でもいいので、まちなみを整えていくことも必要。
- ・ 保全も大切だが、活用の視点がないといけない。
- ・ 取組の方向性等、何について取り組んでいるのかがすぐにわかるキャッチフレーズをつけるなど、どのような取組をしていくのかを誰にでもわかるようにしていくことが重要。
- ・ 大道筋での取組が進みやすいように、規制緩和や補助を実施することで、大道筋を魅力ある空間にしていくことが必要である。
- ・ 大道筋など、何かの取組を進めたい人が相談できるような窓口などがあってもよいのではないかと。
- ・ 場所に関心を持ってもらうことが第一歩で、きっかけづくりを進めることが重要。
- ・ 大道筋という名称より、紀州街道の方がなじみある人も多いように感じる。例えば、チン電通りなど、大道筋の特徴がすぐにわかるようなネーミングを考えてよいのではないかと。
- ・ 来訪者が始めに接する店舗の人にも、地域のことを知ってもらう機会を設けることも重要。

2 大道筋における「場」づくりの取組について

- ・ 「場」では、何をやる場なのかを決めておく必要がある。それを想起させるような会議名称にしてはどうか。
- ・ 場に参加する人が共通認識を持って取り組めるようにしないとけない。そのために、ビジョン等を示していく必要がある。